



「戦争は心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

第24回阪神間ユネスコ協会合同事業開催

日時：2001年10月10日（水）14:00～16:00

場所：尼崎市立小田公民館多目的ホール

主催：阪神間ユネスコ協会連絡会（担当：尼崎）

（芦屋・伊丹・川西・神戸・三田・宝塚・西宮・尼崎）

講師：有野永霧先生（写真家・大阪芸術大学写真学科教授）



テーマ「自然と人間の共生」～人間が自然にしかけたこと～

ユネスコは「戦争と暴力」の20世紀と決別し、21世紀は「対話と文化の時代を築こう」と提唱する中、アメリカで起こった同時多発テロ、そしてその報復は今アフガニスタンの国土と国民を恐怖にさらしています。そんな折の写真家有野永霧氏の「Earth Works」と銘打たれた作品、～山をえぐり取って作られた道路～や～一面の若木を伐採された山肌～などのスライド100枚!!を見せていただき、戦争同様とも思える「人間が自然にしかけたこわさ」を次々に自覚させられました。

氏はそのテーマを「自分を育んだ街（自分と街）」「その街を取り囲む都市（都市と人間）」から、ある時自然が呼びかけてきた風景に導かれ「自然と人間」へと活動を拓けていかれたそうですが、自然と人間との共生を考えると、必ず相反するものが前進や、成長を助ける関係にあることは認めなければならない。人間のわざという「虚」の部分と自然という「実」の部分の間に何を見、何を見極めるかを問いかける写真を撮り続けていると話されました。写真作家の目を通して見た「自然と人間」は、地球環境の一つの見方として、自然と人間が共生するために見極める事の大切さを強く訴えかけてきました。

お話しとスライドを拝見して、戦争は目に見えて物や心を破壊していき、自然と人間が共生していないことがよくわかりました。「便利で快適な日々の生活に甘えるだけの私共は自然と共生していると言えるのだろうか」と改めて考えさせられる講演でした。

委員会報告とお知らせ

From事業委員会

□書き損じはがきの回収

芦屋ユネスコ協会主催の会合・イベント・講演会などの受付、あるいは芦屋市役所北館4F 社会教育部生涯学習課内、芦屋ユネスコ協会事務局にて回収いたしております。書き損じはがきがありましたら是非ご協力下さい。

Fromレディス・セミナー

□レディスセミナーハウス

毎月第3火曜日の11時から山村サロンにて開催しております。

出席者

9月18日 鎌苅登代子氏 「ビューティフル ライフを描く」

57名

～絵を描くこと、物をつくることは楽しい～

(画家、モナコ公国現代美術国際展にて「DIPLOME」受賞、ヨーロッパ各地
その他にて個展)

10月16日 于延民氏 (医学博士)

「心身共に健康になる気功の神秘」

40名

～自然の力で自愈力を高める東洋医学の思想～

<セミナー予告>

11月20日 小山正明 こやままさあき「プロ野球今昔」

(元阪神タイガースピッチャー、引退後各チームの投手コーチ歴任。野球殿堂入り。

現在テレビ野球解説者、デイリースポーツ評論家)

12月 休会

1月15日 深江 賢 ふかえたかし (ブルガリジャパン株式会社 代表取締役社長)

*ビジター参加可能 (参加費他問い合わせ: tel 31-3353 fax 31-3046 江藤)

From学生クラブ

□世界遺産セミナー「世界遺産と生活様式」が行われました。

芦屋市国際交流協会 (ACA) 会議室 18:30~20:00

10月17日 (水) インドネシア ウィヌ・ハンドコ氏、ハルト氏

10月30日 (水) モロッコ ベルカド・アブダーレル氏、ハッサン・ゼナス氏

<セミナー予告> 多数の参加をお待ちしております。

芦屋市国際交流協会 (ACA) 会議室 18:30~20:00 参加費: 各回500円 (お茶代)

11月14日 (水) スリ・ランカ クララ・ジャスリヤ・ガラレ・ピタペラ氏

11月28日 (水) ケニヤ エゲン・シルバスター・ワス氏

□GOOD WILL PARTYのご案内

11月17日 (土) 18:00~21:00 海技大学校体育館にて、海技大学校外国人研修生と日本の大学生との交流を行います。皆様もお手伝い・お楽しみにご参加ください。

研修生はフィリピン、インドネシア、ベトナム、バングラディッシュから総勢54名です。楽しい一時をご一緒しましょう。(お食事は出ません。参加費無料。)

From事務局

□日本ユネスコ協会連盟より新しいパンフレットが送られてきました。

今回のAU通信に入会申し込み書と共に同封していますので、会員勧誘にご活用ください。
会員勧誘も立派なユネスコ活動ですので啓蒙活動にご協力をお願いいたします。

□日本ユネスコ協会連盟がテロ事件に対する声明を発表しました。

日本ユネスコ協会連盟は先のアメリカ同時に多発テロに対し、9月29日の第201回中央委員会において、当連盟の基本的立場を確認し、さらに「世界の子どもたちのための平和の文化と非暴力の国際10年」の具体的な行動として『まず飢えと寒さにより生命の極限状態にある数百人の罪のないアフガニスタン難民の窮状を救う人道的活動に特化し、緊急募金活動をすることとする』声明を発表しました。

芦屋ユネスコ協会講演会&懇親会のご案内

秋冷の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

下記のとおり、年末の講演会と懇親会を計画しております。是非ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 2001年12月18日(火) 18:00~
- 2 会 場 : ホテル竹園
- 3 講演会 : 講師 外務省大阪担当大使 望月敏夫氏
- 4 懇親会 : 食事会&余興
ビンゴ大会(素敵な景品が当たります)
- 5 会 費 : 5,000円(当日受付にて徴収)
- 6 その他 : 詳細については12月4日の理事会にて検討いたします。
- 7 出欠連絡 : 11月末までに、往復葉書でのご案内を差し上げますので、返信を期日までにお出してください。

<問い合わせ、連絡先>

事務局次長 園田容子

〒659-0095 芦屋市東芦屋町16-10

FAX 0797-23-6082

メールアドレス: yokol108@gold.ocn.ne.jp

<芦屋ユネスコ協会連絡先>

会長 広瀬忠子

TEL 0797-31-0001

FAX 0797-38-3388

生涯学習課

TEL 0797-38-2091

FAX 0797-38-2089

芦屋ユネスコ協会 会員募集へのご協力をお願い

芦屋ユネスコ協会は1947年に誕生してすでに54年になります。阪神淡路大震災で活動が一時休止しておりましたが、昨年再発足し活況を取り戻して参りました。民間ユネスコ運動は日本から世界へと広がり、今では118ヵ国で5,000を超えるユネスコ協会やユネスコクラブが市民活動を続けています。新世紀を迎え、さらなる平和と非暴力の文化を目指し「わたしの平和宣言」を策定し、力強い市民活動を展開して参ります。

わたしの平和宣言

- ①すべての人の生命を大切にします。 ②どんな暴力も許しません。
- ③思いやりの心を持ち助け合います。 ④相手の立場も考えます。
- ⑤かけがえのない地球環境を守ります。 ⑥みんなで力を合わせます。

今回米国で起こった同時多発テロを、断固糾弾し、国連の良心といわれるユネスコこそ、「人の心の中に平和のとりでを築く」と銘記された憲章の基本理念に立ち、世界の人々の相互理解と対話による「平和の文化」を一層推進しなければなりません。

芦屋ユネスコ協会はユネスコ憲章に基づき、教育・科学・文化を通じて国際理解と世界平和に貢献し、あわせて会員相互の親睦をはかることを目的とし、常に明るく、温かく活動を展開しています。

芦屋ユネスコ協会の会員数は現在160名強ですが、「平和を願う市民活動をさらに拡げて参りたく、ご家族・ご親戚・ご友人・ご近所の皆様を会員として御誘いいただくことをお願い申し上げます。協会の会員になっていただだけで大きな力になるのです。

今回、会員入会申し込み用紙を同封させていただきましたので必要事項をご記入の上、芦屋ユネスコ協会事務局（下記連絡先）へお送りください。お申し込み・ご入金を確認いたしました後、事務局より会則及び各種資料を送付させていただきます。

<連絡先>

芦屋ユネスコ協会事務局

芦屋市教育委員会社会教育部生涯学習課内

〒659-8501 芦屋市精道町7-6

TEL(0797)38-2091 FAX(0797)38-2089

ユネスコ会員になるだけで、あなたはもう世界平和に貢献しています。

会員として納められた会費のうち、1,300円は日本ユネスコ協会連盟を通して世界遺産の維持と非識字者の学習援助等平和活動に幅広く使われています。その経過は隔月に送られてくる「機関誌ユネスコ」で知ることが出来ます。今般は「アフガニスタン難民支援」を緊急に行うことを決定し、募金の呼びかけをしています。また引き続き書き損じか書きの回収による募金活動も行っています。

編集後記 毎回書く恐怖を味わっています(H.N) オメデタの人有り、超多忙な人有りと何時になく人手の少ない編集委員会でしたが、何とか無事発行にこぎ着けました(Y.S)